

新年の政治はどうなる

評論家、ノンフィクション作家

塩田

田

潮

- *初の自力復活首相
- *二つの失敗、一つの成功
- *オリンピックの招致—今と昔
- *招致成功の三つのポイント
- *最大の目標は憲法改正
- *理念派かつ調整型
- *「もう失うものは何もない」のか
- *二つ憲法案を用意した自民党
- *野党はどうなっているか
- *政権の賞味期限はいつか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、塩田さんに2013年締めくくりの政治のお話をしていただくことにいたしました。順調に走ってききました安倍内閣ですが、特定秘密保護法の問題でここへ来て強引な手法が目立っているということ、支持率が下がっているのではないかといわれております。

それから、塩田さんの新しいご著書が今日発売だそう、タイトルの新しいご著書が今日発売で900円だそうです。新書にはちょっと厚い本のように思えます。戦後の28人の政治家についてお書きになっています。ぜひ書店で塩田先生、よろしくお願いたします。（拍手）

塩田 潮

塩田 塩田潮でございます。

安倍政権が誕生したのは2012年12月26日ですので、間もなく1年になります。2012年12月16日に総選挙がありまして政権交代が実現したわけです。ここまでの1年、アベノミクスを掲げて走った安倍政権の効果が出たような状況にあります。この1年間で日経平均株価は7000円以上上がりましたし、円は23円もドルで円安になっています。数字もさることながら、私は、停滞していた日本のムードを、景気、空気、さらに国民の心理まで変えたところが大きいのではないかと思います。

内閣支持率もたいへん好調でして、安倍さんの第一次内閣のときは、共同通信の調べでは発足時65%、そして11カ月が過ぎたときは、参議院選挙で負けて辞める直前ですが、40・5%